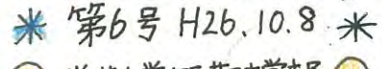





  
 \* 第6号 H26.10.8 \*
   

 常葉大学短期大学部
   

 専攻科 保育専攻
   


# 子育て通信

『食欲の秋』『芸術の秋』『スポーツの秋』など、多くの楽しみがある季節がやってきました。みなさんにとって『秋』といえばどのような秋を思い浮かべますか？

私は秋といえば『読書の秋』を思い浮かべます。就寝前、両親に絵本を読ませてもらったことが幼い頃の一番の楽しみであり、幸せなひと時であったことを大人になった今でも覚えています。幼い頃に出会った絵本を手に取り、ページをめくるごとに懐かしい思い出が蘇り、温かい気持ちに包まれます。お子さんたちも一冊一冊の絵本に、お母さんやお父さんとの楽しいやりとりや、幸せな記憶を刻みながら、素敵な時間や思い出を積み重ねることにより、次第に子ども達自ら絵本に親しんでいくのではないのでしょうか。新たな絵本との出会いをお子さまと一緒に楽しんでみてください。

また、10月27日～11月9日は読書推進運動協議会が主催する“読書週間”です。子ども達に本を正しく読む習慣やより読書生活を充実させていくことを目的に1947年(昭和22年)に設定されました。しかし、本を読むことは子どもにだけ効果があるということではなく、私たち大人にも、読書をするることによってさまざまな効果があります。特に読書には**ストレス解消**の効果があり、**6分間**の読書で**ストレスが3分の1以下**になるという研究の結果があります。これは音楽を聞くことや運動をすることよりも高い効果が得られ、読書は脳を活性化させることはもちろん、**リフレッシュ効果**があるということが分かります。お子さんが絵本の世界に親しむ隣で、お母さんも“読書”というリフレッシュ方法を試してみてください。

『読書の秋』特集では、お子さまにおすすめの絵本や絵本を選ぶポイントについてはもちろん、大人の方向けの絵本のご紹介もご用意しております！







# お母さんの声



TVを全く見ない我が家では子どもたちにとって絵本が最大の娯楽です。今日も新しい絵本に出会うことが出来てよかったです。そして外で絵本を読むのも気持ちが良いです。公園に行くときも絵本を持って出掛けようと思います。かわいい絵本の準備ありがとうございました。

おすすめの育見書などもおしえてほしいです。図書館に子供も連れてこれるのはうれしいです。

お姉ちゃんが絵本大好きで下の子どもも絵本が好きになってます。色々な本を読ませていきたいです。

図書館、ゆくり見たかたですが... お部屋での遊びがなごりおしかたようでシールラリーが終わり、たら早々に図書館を脱出!! 図書館をゆくりみられるのはまた「先かな」?

図書館にはあまり行かないのでこれをきっかけに子供と行ってみようかなと思いました。自分もゆくり読書できる日を楽しみにしているところです。

今日はいつもと違って親子での探し物ができて楽しかったです。たくさんの絵本もあって今度は借りてみたいなと思いました。

すてきな絵本、おもしろそうな本が沢山あってすてきなところだと思いました。ただ絵本さかしは大変。分類がいまいちよくわかりませんでした。

絵本を選ぶポイントを教えてもらったのが良かったです。プリント形式でもいいので年齢別のオススメの絵本の紹介があると有り難かったです。

図書館に入れていただけるなんて貴重な体験でしたが全員で同じスペースで本を探るのはせまいような気がしました。もう少し時間があればもっとゆくり本がさがせたかと思っていますので家の近くの図書館に行ってみようと思います。きっかけづくりをありがとうございました。

子供がまだ小さいので、ママが雑言志を読んで楽しめました。ゆくり本を読むといい時間だなあと感じ、リラックスできた気がします。

図書館たんけんたくさんの本があって児童書もおもしろそうな本がたくさんあります。いろいろな本に親しむことで感性も良くなると思いました。

図書館の絵本をたのしむに見ていました。図書館に入れてよかったです。

色々な絵本にふれあえて良かったです。自分ではえらばない本も、おすすめを教えることで視点を変えてみつけることができるようになるのでうれしいです。もっとみつけやすい西己置になつるといいなと思いました。大人向けの子供とあそび本も色々あって楽しかったです。

「大きなカブ」珍しく娘が落ちて聞いていました。言われてくれた学生さんの言葉の方がよかったですね。探した本私が昔好きだった絵本でした。

ウォークラリー形式でも楽しめました。絵本えらびのポイントも教えてもらって良かったです。また来たいです。ありがとうございました。

読みきかせも、きあそびも歳になるとばかりの娘も楽しんでました。図書館体験は大好きな「たのまん」シリーズを探し、楽しめました。

次回は  
11/5 です



# 絵本えらびのポイント!!

大特集!!

「絵本を読む」ということは子どもたちの中で「ドキドキ、ワクワクすることであり、豊かな言葉や表現を子どもたちの心にダイレクトに伝えてくれます。

子どもは「心」が動いたときにより多くの言葉を習得すると言われ、またそれにとどまらず、絵本から様々な概念や価値、社会性等を学ぶことが出来るのです。

★まだ言葉の少ない子どもに対する絵本えらびのポイント!★

- ① 1ページの文が長すぎない。(例) 絵本「くだもの」 平山和子さく
- ② 絵と文がしっかりとマッチしている。
- ③ 文章、言葉の表現が分かりやすい。



発達が進むにつれて、掛ける言葉を変化させてみる。

その年齢でしか読む必要はない。ということはなく、1冊の絵本からアロ-チを変えていくことが大切です。



「赤いね。」  
「丸いね。」

→ 「りんごだね!」 → 「おいしいだね!」 → 「りんごだね!」

「食べてみようか。」  
「皮をむいて、はいどうぞ!」

★少し言葉が出てきたり、他者との言葉のやり取りに興味を示し始めた子ども★

「おいしいだね〜」「あ、○○だね。」等の母親から子どもへのアロ-チだけでなく、「おいしいだね!」「はい、どうぞ!」と少し言葉をつけ加えることで「ありがとう」という言葉や実際に食べる仕草をしたりとやりとりが増えていき、絵本を通して他者とのやり取りを「楽しい」と感じられるようになります。

絵本に記載されている対象年齢はあくまでも目安であり、子ども自身が

「お母さんと一緒に絵本を見るのが嬉しい!」と感じられることが大切です 😊



# 年齢別のおすすめ絵本の紹介コーナー!!!

## ☆ 0~1歳

### くだもの



平山和子 さく  
福音館書店



柏原晃夫 さく  
学研教育出版



カズコ・G・ストーン さく  
童心社

分かりやすい絵で  
単純な言い回し。  
はっきりとした色使いさ  
しているものを選ぶと  
良いです。

## ☆ 1~2歳



三浦太郎 さく  
偕成社



たしろ ちさと さく  
クランママ社



中川ひろたか さく  
金の星社

絵を見せて、対話の  
材料となるものや、  
リズムカルの繰り返し  
の言葉が良く出て  
くるような絵本を  
選ぶとよいです。

## ☆ 2~3歳

### おてかけのまえに

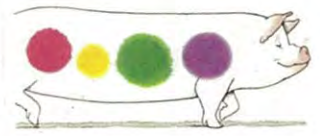


筒井頼子 さく  
福音館書店



エリック・カール さく  
偕成社

### なにを たべてきたの?



岸田 裕子  
偕成出版社

- ① 実際の生活と  
合わせられるもの。
- ② 登場人物の表情や  
感情が分かり易く  
表されているもの。
- ③ 簡単なストーリー性  
のあるもの。
- ④ 非日常のストーリーで  
夢が膨らむもの。  
等を 選ぶとよいです。



お父さんやお母さんの優しく、あたたかい、心のこもった声で  
たっぷり読み聞かせをしてあげることが大切です♡



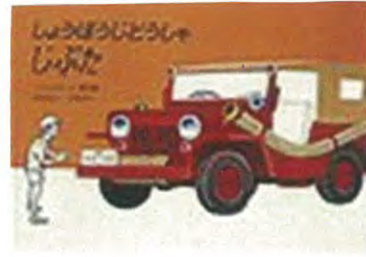
★ 3歳～4歳



内田莉莎子 訳  
福音館書店



長谷川義史 著  
絵本館



渡辺茂男 著  
福音館書店



竹下文子 著  
金の星社

この時期は多感になるが故に刺激の強い(TV、アニメ)ものに興味を持ちがちです。しかしそういったものや光さ放つおもちゃ等は「めりさを与えすぎると子どもは情緒不安定になりやすくなってしまいます。また人の気持ちを理解できるようになるので子どもの感受性を大切にしたいもの、登場人物の気持ちを一生懸命考えさせる、喜怒哀楽のある創造力を膨らませるような物語を中心に選ぶとよいです。

★ ぜひ! お母さん自身に読んでほしいおすすめ絵本



チェ・エラス文  
童話屋



清龍村有子 著  
福音館書店



アリスン・マギー 著  
主婦の友社

絵本の中の  
ページ

仲の良いおじいさんとおは「あなたのお話。きみは太陽のようにきれいだよ。おじいさんは引、きみ思案なおは「あなたに言う告げてパーティーに誘います。夫婦で読まれるのにもとってもおすすめです! ♡

子どもがお兄さん、お姉さんになっていく本。彼らがその中で感じる切なさ、それを乗り越えることで成長していく姿を母親の深い愛情と共に描いている一冊です! ♡

NYタイムズで絶賛、全米中の母親を号泣させた絵本。母になることの喜び、不安、苦しみ、つらさ、寂しさ、子どもへの思い...。だからお母さんの一生の宝物にしたいくなるようなそんな一冊です。母親にならばお母さん、子育て真最中の人、子ども、自分の母親、すべての人に贈ります。



# 食欲の秋

日本には四季がありますね♪  
その時期に合った料理を作り、  
日本ならではの季節を楽しみましょう!



## 作り方

1. まず、お米を手早く洗い、ザルにあげて20~30分程度水切りをする。
2. お水、白だし、みりんの計量と具の準備!  
おき栗のほかに雑穀米と油揚げの干切りをプラスします。
3. お釜に全ての材料を入れて30分程度浸してから炊飯スイッチを入れて炊く。
4. 炊き上がったたら軽く混ぜて少し蒸らせば完成です。
5. 炊きあがった栗はホクホクで柔らかいので混ぜるときに崩れるのが、イヤでしたら一度取り出してから盛り付けて下さい!

## 材料 (一合に対して)

- お米 ..... 1CP
- お水 ..... 1CP
- 白だし ..... 大さじ2
- みりん ..... 小さじ1
- おき栗 ..... 適量
- ★ お好みの具 ..... 適量

コツ・ポイント  
さっぱりとした炊き加減が好きな白だしと水で1CPになるように調節してください。お米を洗ったり浸したりは省略可能ですが、ひと手間加えると美味しくなります!

子どもと一緒に是非  
作ってみてください!

# スポーツの秋

親子でふれあいながら楽しむことのできる遊びを紹介します。今回は、「ももや、ももや」というわらべ歌です。



① 大人2人が子どもの手首と足首をしっかりと持ち、左右にゆらす。

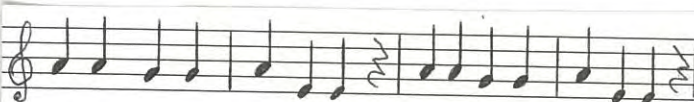
② 足首側を持っている大人が子どもを抱く。



ももや ももや なかれは (はやい)



どこいよ



せんたくすれば きものがゆれる

実際に保育所でも行われていた遊びです。  
特に「どこいよ」のところでは、お母さんの荷重が見えた嬉しさでも楽しんでいました。ご家庭でも遊んでみては?

